

ステンレス製器具用吊具 NP29000

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

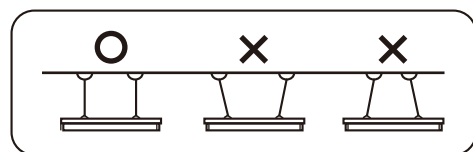
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

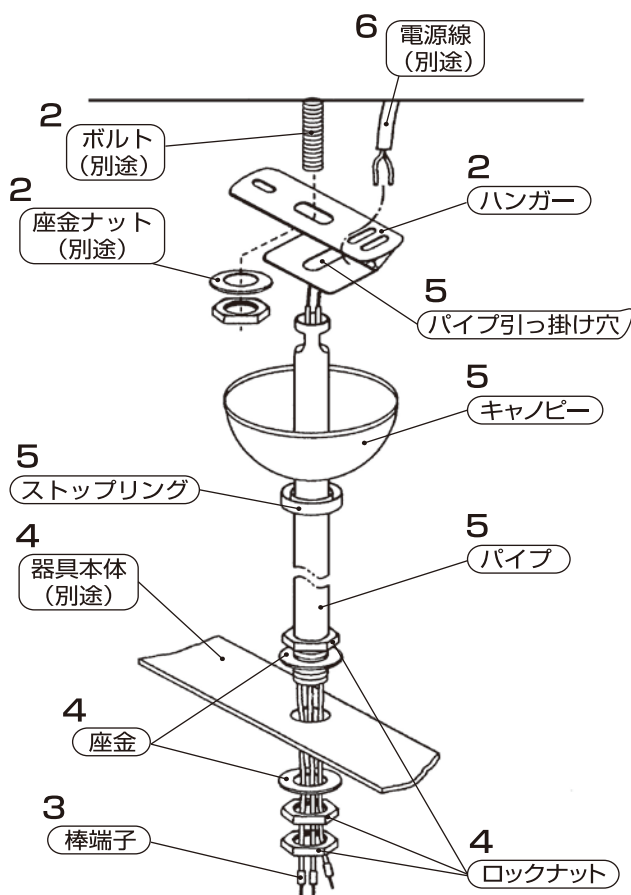
- 施工は 施工説明にしたがい、確実に施工を行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 吊具を改造しない。落下の原因となります。
- 天井取付専用吊具ですので、傾斜天井・壁面への取付けはしない。落下の原因となります。
- 適合器具以外使用しない。落下の原因となります。
(器具の取扱説明書またはカタログにてお確かめください。)
- 2本吊専用ですので、1本吊はしない。落下の原因となります。
- ハンガーの取付けピッチは器具本体への吊具取付けピッチと合わせる。
落下・器具の傾きの原因となります。
- 開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。落下の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理(融着テーピング等)は確実に施工。
感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続(ねじり接続等)はしない。必ず専用工具で圧着すること。
火災の原因となります。



注意

- 振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下の原因となります。

各部のなまえと取付方法



7 キャンノピーの固定

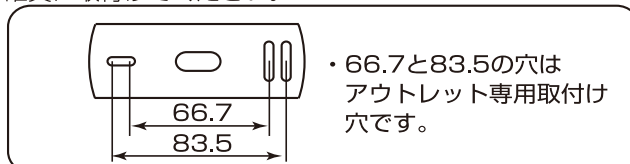
- ・ストップリングを押し上げ、キャンノピーを天井に密着させる。

1 取付け前の確認

- ・許容荷重(2本30kg)に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備があると落下の原因となります。

2 ハンガーの取付け

- ・ハンガーをボルト(W3/8またはM10)またはビスにて天井に確実に取付けてください。



不備があると落下の原因となります。

3 リード線を接続する

- ・同梱のリード線を器具の端子台に接続する。
(詳しくは、器具側の取扱説明書をご覧ください。)
- ・リード線を器具のパイプ取付部付近の電源穴から引き出す。
(誘導灯の電源穴にはプッシングをはめてください。)

接続が不完全な場合は、火災の原因となります。

4 器具の取付け

- ・パイプを座金、ロックナットにて器具に確実に固定する。
- ・パイプにリード線を通す。

取付けが不完全な場合は、落下の原因となります。

5 パイプの取付け

- ・パイプにストップリング、キャンノピーを通す。
- ・パイプを持って器具を持ち上げ、ハンガーを確実に引っ掛ける。

取付けが不完全な場合は、落下の原因となります。

6 電源線とアース線の接続

- ・電源線・器具口出し線・アース線を接続する。
- ・接続部の絶縁、防水処理(融着テーピング等)を確実に施工。
D種(第3種)接地工事が必要
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の線種: ビニル絶縁電線
電源線の線径: 0.75 mm² アース線の線径: 1.25 mm²

警告 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

安全に関するご注意



警告

- 吊具を改造しない。落下の原因となります。



注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 3～5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ 注意 (必ず電源を切って行ってください。感電の原因となります。)

- ・吊具の清掃について……………
- ・汚れを落す場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・シンナーやベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。